

### TRANSITION TO HEALTH (089)

## “ 新型コロナウイルス感染 ⑮ ”

～ 人類初の「**遺伝子ワクチン**」の接種始まる！ ～

### はじめに

Pfizer / BioNTechの**mRNAワクチン**：コミナティ (COMIRNATY) が、2月14日午後、安全性・有効性が確認されたとして正式に**特例承認**され、17日、国立病院機構東京医療センターを皮切りに、医療従事者を対象とした先行接種が始まった。静岡県内では19日に桜ヶ丘病院の6名が先行接種されていた。被接種者は、健康状況を調査票に記載して報告することであるが、あくまでもアナフィラキシー（ショック）などの「即時性・早発性の副反応」をチェックするのであって、私が懸念している神経疾患・不妊症・自己免疫疾患・難病・癌の発症などの「遅発性・後発性の副反応」は念頭にないようである。



### ワクチンの遅発性・後発性の副反応の可能性

右は、前号でお話した元・ファイザー社の副社長兼最高科学責任者であった**マイケル（マイク）・イードン**博士の**緊急請願**（申立て）に基づいて、今回の遺伝子ワクチンで起こる可能性のある**副反応**を表にしたものである。今、メディアでは、感染症の専門家が出演し、「接種後の**アレルギー反応・アナフィラキシー**の原因は、**PEG**（ポリエチレングリコール）のためである」と解説している。「接種後15分～30分待機してもらい、万が一、アナフィラキシー（ショック）が起きても、処置をすれば大丈夫である」と強調している。即時性の副反応：アナフィラキシー・ショックで救命し得なかったら大変な事態であり、救命されて当然である。私たちが懸念しているのは、「即時性」はもとより、中・長期的な「**遅発性・後発性**」の**副反応**の方である。

the Pfizer / BioNTech mRNA vaccine ファイザー / ビオンテック <b>メッセンジャーRNA</b> ワクチン	
<b>ワクチン含有成分</b>	<b>副反応の可能性(仮説)</b>
① <b>PEG</b> (polyethylene glycol) ポリエチレングリコール スパイクタンパク質のmRNAを包み込む脂質成分	抗PEG抗体産生 ⇒ <b>アレルギー・アナフィラキシー</b> （ショック） 抗体依存性感染増強（ <b>ADE</b> ） サイトカインストーム（ <b>免疫の暴走</b> ）
② <b>Syncytin-1</b> (シンシチン-1) mRNAにコードされる <b>スパイクタンパク質</b> ヒト <b>内因性レトロウイルス</b> 由来 哺乳動物の <b>胎盤形成</b> に必須なタンパク質	抗シンシチン-1抗体産生 ⇒ <b>胎盤形成障害・生涯不妊症</b>
③ 『 <b>mNeonGreen</b> 』(生物発光物質) 海洋無脊椎動物由来	抗原性不明 <b>接種済み認証用???</b>

と強調している。即時性の副反応：アナフィラキシー・ショックで救命し得なかったら大変な事態であり、救命されて当然である。私たちが懸念しているのは、「即時性」はもとより、中・長期的な「**遅発性・後発性**」の**副反応**の方である。

### 遺伝子ワクチン（mRNAワクチン）の有効性について

右は、ワクチン「コミナティ筋注」の添付文書からの抜粋（コピー）である。「**薬効薬理**」の「**作用機序**」には、「mRNAが宿主細胞（＝ヒトの筋肉細胞）に取り込まれ、mRNAにコードされるSARS-CoV-2の**スパイクタンパク質**が**一過性に発現**する。・・・**中和抗体産生及び細胞性免疫応答が誘導**されることで、・・・SARS-CoV-2による感染症の**予防に寄与**すると**考えられている**。」とある。今、開発された複数のワクチンの有効性が「90%以上」等々報じられているが、あくまでもワクチンメーカーの発表である。メーカーは、予防に寄与すると「**考えている**」のであって、確信しているわけではない、「**期待している**」のである。本当に有効かどうかはこれからの話である。接種によって一過性に発現したスパイクタンパク質

#### 18. 薬効薬理 18.1 作用機序

本剤に含有される修飾ウリジンメッセンジャーRNA (mRNA) は脂質ナノ粒子に封入されており、それにより非複製性であるmRNAが宿主細胞に取り込まれ、mRNAにコードされるSARS-CoV-2のスパイクタンパク質が一過性に発現する。本剤接種によりスパイクタンパク質に対する中和抗体産生及び細胞性免疫応答が誘導されることで、SARS-CoV-2による感染症の予防に寄与すると考えられている。

に対して、**中和抗体**が産生されるかどうか、**細胞性免疫**が**応答**するかどうかは、接種を受けた人の**免疫力次第**なのではなからうか。「きちんと**中和抗体**を**産生**できる」「確実に**細胞性免疫**が**応答**する」ことが**前提条件**となるであろう。そう考えると、ワクチン接種の優先順位の上位に「高齢者」「基礎疾患を有する人」を置くことは、むしろ逆ではなからうか？と私は個人的に考えている。**免疫力**が**低下**している可能性の高い「**高齢者**」「**基礎疾患**を有する人」「**癌患者さん**」は、ワクチン接種によって、「**非中和抗体**」を作ったり、「**抗体依存性感染増強**」「**免疫の暴走**」を起こす可能性が高いのではないかと危惧している。

## CDC：遺伝子ワクチンの添加剤：PEG について

右図（上3つ）は、CDC(米国疾病予防管理センター)の2021.02.11付のHPからの引用である。Pfizer / BioNTechとModernaのワクチンの対比表の欄外に注意書きがあり、その冒頭に『**卵、ゼラチン、ラテックス、保存剤を含む**』との記載がある。従来のワクチンには、これらの**有害成分**が当たり前に含まれており、**様々な副反応**を起こしていたことが問題になっていたことを意識しての記載であることがよく分かる。右(最下)に、健康通信No.85に載せた「**ワクチンに関する国際医学協議会編**」の『**VACCINES：GET THE FULL STORY**』から引用した『**ワクチンの液体成分の毒性・副反応**』を参考までに再掲載したので、再度ご覧ください。

さて、CDCによる注意書き(NOTE)の内容は、「ファイザー」「モデルナ」のいずれのワクチンにも**PEG(ホ°リソルグ°リール)**が含まれていること。**PEG**は、大腸内視鏡検査で用いられる**浸透圧性緩下薬・経口腸管洗浄液**の主成分であり、また、その他多くの薬剤や特定の化学療法剤にも使用されていること。さらに、**交差反応性過敏症**が**PEG**と**ポリソルベート**（右下表のポリソルベート80）の間で発生する可能性があること。そして、2021年1月21日の時点で、**PEG**を含む**mRNA COVID-19ワクチン**は、米国で現在利用可能な唯一のワクチンである。また、他のいくつかのワクチンには**ポリソルベート**が含まれていること。**PEG**および**ポリソルベート**に対する**即時型過敏症**はかなり一般的なアレルギー反応であることなどについて記載されている。

## 接種（摂取）経路が違えば・・・副反応の出方も違うのでは？

ワクチンメーカーもCDC(米国疾病予防管理センター)も、**PEG**はすでに医療用製剤として用いられており、起こり得る**即時型過敏症**は**許容範囲内**(?)であるという立場のようである。**遅発性・後発性**の副反応については**言及せず**、また、**マイケル・イードン博士**が指摘した「危険性」「疑惑物質」については触れられていない。現在、医療で用いられている**PEG**の体内侵入経路は「**経口**」である。しかし、ワクチンは「**筋注**」である。「**経口**」ならば、嘔吐・下痢などで異物を体外に排出することが可能であるが、直接、筋肉細胞内に注射されたのでは、排出しようにも排出できない。重大な**有害事象・副反応**も起こり得る。ちなみに子どもの食物アレルギーの多くは、口唇周囲の湿疹など、皮膚の傷で感作されて起こるといわれている。**PEG**を「**経口**」でなく「**筋注**」されてしまえば、**想定外の有害事象・副反応**も起こり得ると考えるのが自然であろう。

## 人類初の人体『遺伝子組み換え』実験??

ウイルスの**スパイクタンパク**の**遺伝子**を直接、**筋肉細胞内**に注入することは**人類初**の経験である。もし、スパイクタンパク質に対する中和抗体を十分に作る事が出来ず、**非中和抗体**を作ってしまったら、その後、スパイクタンパクの遺伝子はどんな動きをするのだろうか？ 新型コロナのスパイクのターゲットは、我々の血管の**ACE2受容体**である。ワクチン接種後、スパイクタンパクが体循環に乗り、脳血管や肺血管に**血栓症**を発生させてしまいはしないのだろうか？と私は懸念している。

## おわりに

今回のワクチン開発では、哺乳動物を用いた臨床実験は免除され、ヒトにおける臨床試験期間も観察期間も、あまりにも短すぎ、「**安全性軽視**（無視）」「**スピード最優先**」のワクチン開発と言わざるを得ない。ワクチン接種後短期間のうちに高齢者や基礎疾患を有する人が亡くなられた場合、おそらく「**自然死**」「**基礎疾患死**」とされ、「ワクチンとの因果関係なし」と発表されることであろう。モデルナのワクチン接種後17日で急逝した元大リーガーの**ハンク・アーロン氏**（健康でベジタリアンとしても有名であった）の場合は「**自然死**」と報告されていた。ワクチンを接種するかしないかは、十分に考え、自分で決めることが肝心（腎）要である。



Description	Pfizer-BioNTech COVID-19 vaccine	Moderna COVID-19 vaccine
mRNA	Nucleoside-modified mRNA encoding the viral spike (S) glycoprotein of SARS-CoV-2	Nucleoside-modified mRNA encoding the viral spike (S) glycoprotein of SARS-CoV-2
Lipids	2-[polyethylene glycol] 2000yl N, N'-bis(1,3-distearoyl-sn-glycero-3-phosphocholine) 1,2-distearoyl-sn-glycero-3-phosphocholine Cholesterol	PEG2000 DMG, 1, 2-dimyristoyl-rac-glycerol, methoxy polyethylene glycol 1,2-distearoyl-sn-glycero-3-phosphocholine Cholesterol
Salts, sugars, buffers	Potassium chloride Monobasic potassium phosphate Sodium chloride Dibasic sodium phosphate dihydrate Sacrose	Tromethamine Tromethamine hydrochloride Acetic acid Sodium acetate Sacrose

**\* Neither vaccine contains eggs, gelatin, latex, or preservatives.**

↑  
欄外の注意書き

\*Neither vaccine contains eggs, gelatin, latex, or preservatives.  
The Pfizer-BioNTech and Moderna COVID-19 vaccines contain polyethylene glycol (PEG). PEG is a primary ingredient in osmotic laxatives and oral bowel preparations for colonoscopy procedures, an inactive ingredient component in many medications, and is used in a process called "pegylation" to improve the therapeutic activity of some medications (including certain chemotherapeutics). Additionally, cross-reactive hypersensitivity can occur between PEG and polysorbates (included as an excipient in some vaccines and other therapeutic agents) can occur.  
Information on whether a medication contains PEG, a PEG derivative, or polysorbates as either active or inactive ingredients can be found in the package insert. The National Institutes of Health DailyMed database (<https://dailymed.nlm.nih.gov/dailymed/ndc/2020>) may also be used as a resource. As of January 21, 2021, mRNA COVID-19 vaccines are the only currently available vaccines in the United States that contain PEG, though several vaccines contain polysorbate (more information can be found in CDC's Vaccine Excipient Summary (<https://www.cdc.gov/vaccines/imz/downloads/appendices/Excipient-Table-3.pdf>)). Medications that contain PEG and/or polysorbate are also described in the supplementary materials of Stone CA, et al. Immediate hypersensitivity to polyethylene glycol and polysorbates: more common than we have recognized. The Journal of Allergy and Clinical Immunology. In Press. 7-5-2019; 1533-1546. <https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC6709272/pdf/nihms-151927.pdf>

ワクチンに関する国際医学協議会編 『**VACCINES：GET THE FULL STORY**』より

**ワクチンの液体成分の毒性・副反応**

ワクチンの液体成分	毒性・副反応(副作用)
① 動物細胞の培養で生じた細菌や野生のウイルス	① 未知の細菌感染症・ウイルス感染症（奇病？ 難病？）
② 水銀(チメロサル)	② 神経毒
③ アルミニウム	③ 骨・骨髄・脳の変性
④ 猿、犬の腎臓	④ エイズなどの自己免疫疾患
⑤ 鶏・牛・人間の細胞	⑤ 自己免疫疾患（難病？）
⑥ ホルムアルデヒド(ホルマリン)	⑥ 発癌性物質
⑦ ポリソルベート80	⑦ 女性・不妊症 男性) 睾丸萎縮
⑧ 豚や牛のゼラチン	⑧ アナフィラキシー（ショック）
⑨ グルタミン酸ナトリウム	⑨ 代謝異常(糖尿病)、神経毒、喘息発作